

## 【検尿・便検査】

略語名称	正式名称	正常基準値	検査説明
蛋白定性	尿蛋白定性	陰性（－）	腎臓・尿路疾患に陽性を示します。体位変換や運動などで陽性を示す場合があります
糖定性	尿糖定性	陰性（－）	血液中の糖が高くなった場合、腎臓から糖が排泄されます。その状態を糖尿といい、糖尿病の診断となります。
白血球定性	尿中白血球定性	陰性（－）	尿路系の感染症やアレルギーなどがあるときに尿中に白血球が出てきます
ウビリノーゲン	尿中ウビリノーゲン定性	（±）	肝臓や胆道系疾患、溶血性疾患がある場合に陽性を示します。健康人でもわずかな陽性を示します。
ビリルビン	尿中ビリルビン定性	陰性（－）	黄疸となるビリルビンが、尿に排泄されることで肝臓や胆道系に疾患があることが判ります。
ケトン体	尿中ケトン体定性	陰性（－）	重度の糖尿病状態や低栄養、自家中毒の時に陽性を示します。
潜血	尿中潜血反応	陰性（－）	尿の中に血液が混じっているかを見ます。腎臓・尿路疾患に陽性を示します。生理的に尿中に混入する場合があります
PH	尿中PH	4.5～7.5	体内は一定のPHで保持されています。体内のバランスが崩れると尿中PHが酸性、アルカリ性に傾くことがあります。その状態を把握するための検査です
亜硝酸試験	尿中亚硝酸試験	陰性（－）	食物から摂取した硝酸は腎臓から排出されます。一方、細菌感染による腎炎や膀胱炎があると細菌がこの硝酸を還元して亜硝酸塩にします。間接的に尿路感染症を判断します。
尿沈渣	尿沈渣	顕微鏡で検索	顕微鏡によって、尿中に排泄される細胞や結晶、細菌などの種類や量によって疾患を推測します。
比重	尿比重	1.005～1.030	尿中に溶け込んでいる物質（老廃物）の量の指数として表示します。 腎臓の持つ濃縮機能を見て、腎臓の疾患の程度や治療効果などを判定します。
免疫便潜血	免疫便潜血反応	陰性（－）	大腸や直腸などの下部消化管の出血を伴う疾患の時に陽性が出ます。癌の診断、治療経過観察の補助検査として検査されます。食事の影響は少ない。